

藤間秋男

『明るく・元気・前向き』に
全従業員が共感する

「もし担当者が『明るく・元気』に
していなかったら、顧問料を一カ月
分返金させていただきます」。

TOMAコンサルティンググループ
(以下、TOMA)は約1000社の
顧問先との契約書にこのメッセージ
を盛り込んでいる。返金された例
は1件も発生していないが、顧問先
に対しても自社の担当者に対しても、
いかにも積極果敢なメッセージだ。

TOMAはコンサルティング会社
や税理士法人、社会保険労務士法人、
監査法人など10法人で構成され、
スタッフ170人のうち大半が国家
資格保有者である。

「お客様の見本になる経営」を目指
している同社の経営理念は、『明る
く・元気・前向き』なTOMAコン
サルタントグループは本物の一流専
門家集団として社員・家族とお客様

TOMA CONSULTANTS GROUP **Akio Touma**

と共に成長・発展し共に幸せになり
共に地球に貢献します。その実践
に返金を宣言してまで取り組んでい
るのだ。

創業は1890年(明治23年)、グ
ループ理事長・藤間秋男の曾祖父が
司法代書人を始めたことにさかのぼ
る。この事業は現在、藤間の父・松
男氏が四代目として引き継ぎ、82年
に藤間が大手監査法人勤務を経て藤
間公認会計事務所を開設。2012
年にホールディングカンパニーを設
立した。

この間、経営理念は必要に応じて
改定され、現行の理念は6回目の改
定で策定された。経営理念は従業員
に共感される内容でなければ意味が
なく、修正すべき点があれば修正す
べきである。そう考える藤間は「ど
の会計士にも負けない(笑)」と自
負する『明るく・元気・前向き』を
加えたのだ。

実際、「コンチハ！」と大きな声
で応接室に現れた藤間は、終始豊か

な表情でエネルギーに語り、尋
常ならざる熱量を放出し続けた。

3つのコア・コンピタンスが 顧問先の黒字化を促進する

『明るく・元気・前向き』はTOM
Aが保有する3つのコア・コンピタ
ンスの一つだという。

二番目のコア・コンピタンスは、
税務会計、経営計画策定、人事制度
作成、企業再生、M&A、海外進出
支援、IT化指導などあらゆる経営
課題へのワンストップのサービス体
制を整えていること。

そして三番目は、顧客の見本にな
る経営を実践していること。TOM
Aの担当者が顧客企業で課題の解決
法を質問された場合、あえて理屈を
話す必要はない。どんな質問に対
しても「TOMAではこう取り組んで
いる」と自社を事例に説明している
のだ。

これらのコア・コンピタンスに期

待をかけて、毎年100〜150社
がTOMAと新規の顧問契約を結ん
でいる。だが裏を返せば、それだけ
他の会計事務所が力不足なのではな
いか。

藤間は同業の会計事務所への疑問
を投げかける。

「顧問先に経営理念や経営計画書の
策定を指示しておきながら、自分の
事務所では実行していないところ
が多い。決算を処理するだけとか、試
算表の提出が3カ月も遅れるとか、
情けない事務所が実に多い。だから
毎年、多くの企業が顧問契約をうち
に切り替えてくる」

TOMAの業務成果は顧問先の収
支に現れている。国税庁の「平成
24事務年度 法人税等の申告(課税)
実績の概要」によると、黒字申告割
合は27・4%。これに対して同社の
顧問先約1000社のうち、黒字企
業は70%に及んでいる。

顧問契約は税務会計処理から入
るが、「顧問先の経営課題に対して、



TOMAコンサルティンググループ
代表取締役／公認会計士
藤間秋男

とうま・あきお 1952年東京都
出身。慶應義塾大学商学部卒業。
大手監査法人勤務を経て、82
年藤間公認会計事務所を開設。
2012年に持ち株会社を設立し
た。公認会計士、税理士、中小企業
診断士、行政書士などの国家資格
を持つ。主な著書に『どんな危機
にも打ち勝つ100年企業の法則』
(PHP研究所刊)など。

解決策をお節介なほど提案するのが
当社の方針」と藤間は述べる。指導
の基本方針は「100年企業づくり」
で、藤間は100年存続する企業の
法則を次のように抽出した。

①明るく元気前向きに、負けない
気持ちを持つこと(業績が悪いのは
リーダーの責任) ②打つ手は無限
(諦めたら打つ手は出てこない)(し
ぶとい経営) ③「働きがいのある会
社」づくり④社員と共有する経営理
念を作成・改善⑤100年企業にな
るための、成長し続ける仕組みづく
り⑥顧客を分析し、未来客を獲得す
る⑦目標達成を具体化するための経
営会議を行なう⑧人事制度を整備し、
評価をもとに社員の成長を促す⑨財

務・税務に強くなり、お金の動きを
把握する⑩会社の将来を決める行動
計画のある経営計画の策定。

人を育て、人に任せ 次世代へタスキを渡す

TOMAが老舗企業の社長たちを
招いて開いた「100企業サミット」
で、参加した社長たちの見解は示唆
にあふれていたという。

収益拡大を重視する発言はなかつ
た。彼らが重視しているのは、良い
商品、良いブランド、良い人材、良
い社風に磨いて次の代に会社を渡す
ことだった。

125年の歴史を継承する藤間は

「経営はタスキがけのリレーと同じ
で、そのためには人を育てなければ
ならず、育てるには任せなければな
らない」と説く。

この経営観から、高齢になっても
社長の座に固執し続ける人物には、
顧問契約破棄を承知で怒鳴りつける
こともあるという。「私にとって大
事なのは御社の社員の幸せであつて、
あなたの意地ではない!」と。

次世代へのタスキ渡しを誤れば社
員が不幸になる。社員の幸せを口に
する経営者はゴマンというが、それ
が口先だけかどうかは、顧問先の裏
の裏まで知り尽くしている会計事務
所ならすべて見抜いているのだ。

世のため人のため、社員の幸せ、

Company Profile

TOMAコンサルティンググループ株式会社

- 所在地/東京都千代田丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館3F
- 設立/1982年12月
- スタッフ数/税理士32名、公認会計士7名、
社会保険労務士10名、中小企業診断士3名、
国税局OB顧問税理士8名ほか、170名
- 電話番号/03-6266-2555
- URL/http://www.toma.co.jp/